

【シート1の1】

□地域のお宝について [指定文化財等]

No.	公民館名	文化財の名称	それは、地域でどんな存在となっていますか	備考
1	咸 宜	咸宜園跡	「淡窓町」も廣瀬淡窓にちなんだ町名でもあり、町内には「咸宜小学校」もあることから、町民にとっては生まれた時から慣れ親しみ誇りに思っています。	平成20年2月 日田市指定 第32号
		特別保存樹（銀杏2本）	三本松稲荷神社の神木	
		日田養育館址（石碑）	現三本松市営駐車場（元日田郵便局）の一角に石碑がある。地元でもほとんど知られていないが、日本で最初の児童養護施設として明治元年に日田県令松方正義によって設立されたもの。児童福祉の専門書にはたびたび記載されている。	
2	日 隈	日田祇園祭	日隈地区のみならず、日田市を代表する祭りとなっている。	
3	高 瀬	扁平石人	陣が原にある古墳時代の、磐井氏の岩戸山古墳のもの。なぜ八女市から運ばれてきたのか、どの程度の歴史的価値があるのかなど、わからないため訪れる人も少ない。	
		惣田遺跡	弥生時代の環濠集落の一部と考えられているが、イメージが全くわからない現況。訪れる人もほとんどなく、年々朽ちてきている。	
4	朝 日	「朝日の歴史」を参照		
5	西有田	おきあげ人形制作資料	文化財としての価値を知ってもらうため地域に開放している。また、小学校、支援学校の教材となっている。	
		有田町若八幡社やっこ振り行列	若八幡社の神事として地区氏が毎年10月にやっこ振り行列を行うとともに、天領祭りには、先頭を切って参加し、祭を盛り上げている。	
		磐戸楽	大行事神社に、天文年間以前から伝わる大行事神社の神事として、毎年10月にカップ踊りが行われている。市内各所からの祭り見学は、恒例となっている。	
6	東有田	世尊寺木造薬師如来坐像（諸留町）		
7	小 野	小野川の阿蘇4火砕流堆積物及び埋没樹木群	公民館の中に展示があり、ごくたまに外部地区の方が見に来られる。地域の中での存在としては特に意識されているようには見えない。（が、南海トラフ地震が話題の今、もっと取り上げて良いかもしれない）	国指定 天然記念物
		小鹿田焼	他地区の方に小野地区を説明するときのアイコンとなっている。	国指定 重要無形民俗文化財
		小鹿田焼の里	//	国選定 重要文化的 景観
		豊後の水車習俗	水害で流され、現在無し。	国選択 無形民俗文化財
		精米用箱水車	平成24年の水害で流され、現在無し。	市指定 有形民俗文化財

【シート1の1】

□地域のお宝について [指定文化財等]

No.	公民館名	文化財の名称	それは、地域でどんな存在となっていますか	備考
8	大 鶴	井上家住宅	江戸時代後期～大正年間に建築されたとされる。庄屋の一族として栄え、酒造業を営んできた。主屋は当家の林業が盛んであった頃建築された大規模な二階建て和風住宅で外壁は洋風建築としている。近年ではかつて穀倉であった「滴翠園」を利用して音楽コンサートが開催され地域住民などが訪れている。	平成15年 「国登録有形文化財」 指定
		井上酒造店舗兼主屋	大正から昭和に極めて大きな役割を果たした政治家井上準之助の生家として知られる造り酒屋である。1914年（大正3）に建築上棟された店舗兼母屋は入母屋屋根の玄関を備えた大規模なもので、店に用いた広い土間と整った座敷を並べる。建築当初は茅葺平屋建てであったが家業の隆盛に伴う発展を見せる。現在も、地元の老舗造り酒屋として地域住民に広く親しまれている。また、井上準之助の業績を辿ることができる「清溪文庫」は広く公開されており、貴重な史料館ともなっている。	平成28年 「国登録有形文化財」 指定
9	五 和	穴観音古墳	公園などとおなじようになり地域に馴染んだ存在。	
		ガランドヤ古墳	穴観音古墳とおなじく地域に馴染んだ存在。整備後の公開を地域住民も心待ちにしている。	
10	中津江	津江神社の杉と自然林	津江神社は、氏子となっている集落（丸蔵地区と作草、簾、平、中川内集落）の人々から大切にされている。 杉は神社林としての存在であり、杉そのものを祀る信仰はないようである。	
		老松様の餅搗祭	自然林については、「周辺環境」という考えであり、大きな意識は向けられているとは言えない（とはいえ、見苦しくないように許可を得て手入れは行われている）。 餅搗祭と的ほがし祭は、一時の衰退の時期もあったようだが復活したものの、現在はまた後継者の問題に直面している。	
		老松様の的ほがし祭	その状況に加えて、ここ2年はコロナのため神事のみとなっており、「祭がないこと」に慣れてしまい、それが継続への意欲の低下につながっていることは否めない。 中津江全体としての「自分たちの神社」というような意識はそれほど大きくはないと思われる。	
11	大 山	国重文旧矢羽田家住宅		
		県指定森家五部大乘経		
		県指定烏宿神社鱧口		

【シート1の1】

□地域のお宝について [指定文化財等]

No.	公民館名	文化財の名称	それは、地域でどんな存在となっていますか	備 考
12	天 瀬	宇土遺跡	五馬媛伝説あり。S.60年、ベンガラで塗った石室が見つかる。円墳のげん室、宇土古墳となくけられている。小学校等で、学習に生かされている。	
		川原隧道	玖珠から高尾、矢瀬、女子畑、隈への往還ルート。1854年、石で内部が補強されたトンネル。学習に生かされている。	
		五馬地区くにち	北部九州では、秋祭りをくにちと言ひ、五馬はくにち文化の最東部の地域。毎年10月、次の順番で次の4地区で行われる。(1)本城(金凝神社)本城くにち楽(2)塚田(阿蘇神社)塚田ひょっとこ踊り(3)出口(老松神社)出口くにち楽 ①本村楽②七夕楽④五馬市(玉来神社)五馬市くにち楽	塚田ひょっとこ踊りは指定文化財以外

【シート1の2】

□地域のお宝について [未指定・未把握の文化財など]

No.	公民館名	名称・場所等	地域でどんな存在となっていますか	問い合わせ先など	備考
1	咸宜	筑後軌道豆田駅転車台跡・港町			
2	日隈	日隈山	日隈校区の中心であり、亀山公園としてふるさとの大切な場所となっている。日隈城址であり、現在の山頂には日隈神社がある。		
		筑後軌道跡	庄手地区の県道677号線が痕跡となっており、亀山橋の傍に記念碑が作られている。当時の写真をパネルにしたものは日隈公民館に保管されている。		
		特攻イチョウの木	亀山公園近くにあり、太平洋戦争中、特攻隊員が上空を旋回し、両親に別れを告げた逸話が残る。記念碑もあり、小学校の平和授業で取り上げられることもある。		
3	高瀬	普門寺	廣瀬淡窓が訪れ漢詩を残している大事な遺跡となっている。地域の人たちが、毎年草刈り・清掃などを継続しているが、高齢化のため活動の存続が年々厳しくなっている。	高瀬公民館 琴平町自治会長	
		黒岩梵字	1802年豪潮律師が、水難除けを祈願し彫ったものだが、崖上に水神も祀られ河童にまつわる話も残されていることから、今も水難を恐れる住民のシンボルとなっている。	高瀬公民館 高瀬本町自治会長	
		鶯替え	この行事が高瀬地区で残っているのは、高瀬本町だけとなっている。毎年1月7日の夜に高瀬本町公民館で鶯替えの行事が行われている。世話をしているのは、「あいさい会」のメンバー約30人で、年末に鶯づくりの準備を終え、当日にすべての運営をしている。	高瀬本町自治会長	
		五條殿大祭	この行事は、毎年旧暦の3月28日に現地で、長仁田集落の世話で実施していたが、後継者がいなくなり昨年より中止している。現在、この地区は2世帯だけとなったがお札だけは配布している。	串川町1丁目自治会長	
		鬼ヶ城	1700年ごろ、魔除けのために鬼ヶ城は創設され、大正時代は弘法大師を祭り加治祈禱をし参拝者が絶えなかった。昭和初期、空居となり廃屋となった。現在は、石仏のみ残されているが、訪れる人もなく荒廃している。	琴平町自治会長	
4	朝日	「朝日の歴史」を参照			
5	西有田	原の城跡	ガイドマップや案内板を設置し地域住民、小学生を案内し、地域にある史跡の存在、価値を知るきっかけとしている。	西有田公民館	
		坂本伯耆守鑑次の墓	//	西有田公民館	
		蕪山城跡	//	西有田公民館	

【シート1の2】

□地域のお宝について [未指定・未把握の文化財など]

No.	公民館名	名称・場所等	地域でどんな存在となっていますか	問い合わせ先など	備考
		燕観音	ガイドマップや案内板を設置し地域住民、小学生を案内し、地域にある史跡の存在、価値を知るきっかけとしている。 ・毎年4月8日の直後の日曜日、地域住民により花祭りを開催している。	西有田公民館 三ノ宮町1丁目 伊藤氏	
		佐寺観世音菩薩	ガイドマップや案内板を設置し地域住民、小学生を案内し、地域にある史跡の存在、価値を知るきっかけとしている。	西有田公民館	
		諫山菽邨の墓	//	西有田公民館	
		祇園社	//	西有田公民館	
		小寒水	//	西有田公民館	
		尾当殿の墓	//	西有田公民館	
		夕田横穴墓群	//	西有田公民館	
		大行事神社	//	西有田公民館	
		腰折地蔵	戦国時代、大友宗麟、秋月氏を討ちて府内への帰途、弓を以って射折りたりと言い伝う。腰の痛みに霊験著しとて参拝する者多し。個人により管理されている。	有田町上小寒水 中島氏	
		・子持観音 ・尾当町	尾当町の村はずれにある。「子宝」「安産」のご加護がある観音様である。地域住民によって管理されている。	尾当町自治会長 西有田公民館	
		・小倉工廠バラック工場戦争遺跡 ・中尾町佐寺	佐寺地区の集会所として利用しており、戦争遺跡として地域住民により管理されている。	中尾町 五島氏	
		・有田古墳 ・石松町	石松町上柳地区裏山（諫山宏目氏所有）にある円墳で、出土品多数見つかっている。公民館教室で見学会を開催している。	西有田公民館	
		・三池古墳 ・三池町	三池町（財津誠氏所有山林内）にある円墳2基あり、公民館教室で見学会を開催している。	西有田公民館	
		大行事神社磐戸楽事実並びに秘曲一巻	天文12年（1551年）石松村庄屋の日野善慶が、楽の消滅を恐れ一巻を記し、その後昭和5年（1768年）に石松村庄屋日野清明がこれを書写したものが現在も残っている。日野善慶の記した巻物の所在は不明	大行事八幡神社所有	
		大行事神社磐戸楽「文武の舞」絵図一巻	昭和初期に、中島市三郎氏の発案で磐戸楽を絵画で残すことになり、その絵を草野忠右衛門氏が制作に取り組んだが高齢により他界し未完で終わったが、その後宮川大古氏が新たに制作し現在に残っている。	大行事八幡神社所有	

【シート1の2】

□地域のお宝について [未指定・未把握の文化財など]

No.	公民館名	名称・場所等	地域でどんな存在となっていますか	問い合わせ先など	備考
		須ノ原踊り絵巻	雨乞いのため森藩有田郷代官の命を受け、有田郷の各村ごとに、それぞれ変装し須ノ原台地で皆で踊る。これを絵にした巻物が現存している。(江戸時代)	三ノ宮町1丁目 伊藤恵之輔氏	
		・小寒水遺跡 ・有田町小寒水	土器多数出土している。土地所有者(川津三郎氏)の案内で当時を偲ぶ。	有田町 川津氏	
		・佐寺遺跡 ・中尾町佐寺	弥生～中世の鍛冶屋の痕跡あり。畑からフィゴ等の遺跡多数発見される。		
6	東有田	東神社・稲荷神社(池辺町)	地元の神社として親しまれている。	池辺町自治会 東有田公民館	
		薬師堂(松野町)	〃	松野町自治会 東有田公民館	
		世尊寺・八龍神社(諸留町)	〃	諸留町自治会 東有田公民館	
		王太子神社・片峰観音堂(上諸留町)	地元の神社として親しまれている(片峰観音堂:「主人を守った犬」の伝説が残る)	上諸留町自治会 東有田公民館	
		藪不動尊(月出町)	大きな岩の間に不動明王像が祀られ、地区内外からも多くの参拝客がある。毎年10月28日に藪不動尊祭が開かれる。	月出町自治会 東有田公民館	
		大山祇神社(羽田町)	地元の神社として親しまれている。	羽田町自治会 東有田公民館	
		東光寺(日ノ本町)	地元の寺院として親しまれている。	日ノ本町自治会 東有田公民館	
		弁財天・庚申様(岩美町)	地元の氏神として祀られている。	岩美町自治会 東有田公民館	
		妙見堂(東羽田町)	地元の氏神として祀られている。	東羽田町自治会 東有田公民館	
7	小野	戸山神社上宮	三河町の方を中心とした氏子が下宮と上宮を管理している。上宮は日田の神社としては一番高地(700m)に位置している。		
		溝口神社	小野地区では唯一神輿を持つ神社		
		北山神社	昔は英彦山参りの登山口として賑わった。		
8	大鶴	西善寺の茅葺の山門	紫雲山西善寺は1674年に第一世釈浄念により開山された。山門は、1870年に第八世釈大玄によって建立されたもので、日田市内に現存する山門で茅葺の屋根は大変貴重。		「大鶴案内マップ」より
		伊藤家の鶴亀の池	明治8年ごろ建築の家の南側にある池泉を中心とした築山池泉庭園である。建築当時は、母屋の東側にまで広がった大庭園であったという。池の中に亀頭石を持つ亀島がある。この庭園は江戸中期の池泉鑑賞式とも言われている。池の水は近くの古田川から引かれている。	鶴城町 伊藤氏 (伊藤家当主)	「大鶴案内マップ」より 伊藤秀清氏の話より

【シート1の2】

□地域のお宝について [未指定・未把握の文化財など]

No.	公民館名	名称・場所等	地域でどんな存在となっていますか	問い合わせ先など	備考
		若八幡宮	仁徳天皇・水天宮を祭神とする。 911年大蔵太夫が建立したものと伝えられる。かつては春祭り、秋祭り、霜月祭りが盛大に行われていた。拝殿の天井には、今も日田どんの相撲額などが奉掲されている。		「大鶴案内マップ」より
		雪舟の池	①室町時代に水墨画家・禅僧として活躍をした雪舟が残したと伝えられる池。「心」の字を象ったとされている。 ②雪舟は57歳（1476年）の時に豊後大分に画室を作り、各地を回りながら山水画を描くとともに庭園を残した。この池の他にも「心」を形成する池を多く残していると言う。		①「大鶴案内マップ」（平成21年大鶴まちづくり協議会作成）より ②現地設置の説明版より
		中村の棚田	①「雪舟の池」がある中村集落に広がる棚田である。周囲の山々の若葉や紅葉と共に素晴らしい景観をなしていた。 ②しかし、近年の水害により残念ながらその様相は大きく変わってきている。		①「大鶴案内マップ」より ②現地視察
		山際の棚田	①霊峰上宮山の裾に広がる棚田であり、山際集落より上の部分は昔ながらの棚田、集落より下は整備された新しい棚田である。中村の棚田同様、周囲の山々と共に素晴らしい景観である。 ②しかし、近年の水害により残念ながらその様相は大きく変わってきている。		①「大鶴案内マップ」より ②現地視察
		日田どんの墓	大蔵永季は1104年の京での節会の帰途、小倉から小石原峠を越えて日田の山々を遠望し「我日田の地を踏まずんば断じて死なず」高熱と闘いながらこの地において遂に没した。墓は後に子孫が建てたものとされる。付近は有志により整備をされている。		「大鶴案内マップ」（平成21年大鶴まちづくり協議会作成）より
		下河内天満社	祭神は菅原道真。郡司大蔵永季祈願による二十五社造立の一社と言われている。1683年（天和3）建立され、以後二度の再建を経て、現在の社殿は1979年（昭和54）氏子の寄進により改築されたものである。		「大鶴案内マップ」「郷土大鶴誌」
		丸山自然保護林	コジイ、クロキシイモチ、シリブカガシなどの常緑広葉樹のほか、タカオシケシダ、ヤノネシダ、ウススキヌガサダケなど、特異な分布を示す植物が育成し常緑広葉樹がまとまって残存する優れた天然林。1984年（昭和59）県自然環境保全地域として指定されている。一帯は「丸山こどもの森」として森林環境学習に活用されている。		「大鶴案内マップ」より

【シート1の2】

□地域のお宝について [未指定・未把握の文化財など]

No.	公民館名	名称・場所等	地域でどんな存在となっていますか	問い合わせ先など	備考
		空楽寺の萱の木	寺号を菅原山空楽寺と称する。境内にある萱の木の樹齢は推定300年以上とされる。		「大鶴案内マップ」(平成21年大鶴まちづくり協議会作成)より
		大鶴駅	1962年(昭和37)彦山線宝珠山駅～夜明駅開通時に開業。1984年(昭和59)無人化となる。駅舎の老朽化により2010年(平成22)に新駅舎落成するが、2017年(平成29)水害による鉄道橋脚破損などのため添田～夜明間が不通となり鉄道駅としての利用はなくなった。しかし、地域住民の駅への思い入れは深いものがあり、寂しい思いしている人も多い。		
		祇園神社	通称「ぎおんさま」と呼び、大肥本町迫龍ヶ鼻の台地に、素戔鳴尊を祭神として祀っている。創立は定かではないが、明示20年頃、有志数名が豊前今井の祇園社に参拝し分神を受けて祀ったのが初めとされる。昭和15年近郷近在からの寄進で改築している。		「大鶴案内マップ」(平成21年大鶴まちづくり協議会作成)より
		宮地獄神社	明治12年、森清作氏達が発起し山上に宮を建立し、筑前の国宮地獄神社の分霊を祀る。		「大鶴案内マップ」より
		天満宮老松社	1123年(保安4年)大宰府の分神天満宮神像・霊鏡を大肥の庄にお迎えして宮の洲に祀る。1152年(仁平2年)苑田に遷座する。1239年(延應元年)大洪水のため宮は流失したが、1242年(仁治3年)現在地に社殿を建立した。		「大鶴案内マップ」より
		堂迫自然保護林	1984年(昭和59)丸山自然保護林と同時に県自然環境保全地域の指定を受ける。コジイ、クロキシモチ、シリブカガシなどの常緑広葉樹が育成している。「堂迫子どもの森」として整備されている。		「大鶴案内マップ」より
		親水公園	平成13年、県の事業として整備された。水辺には、まこもが茂り、コウライモロコ、カワムツ、オイカワウグイ、ドンコ、オヤニラミ等の貴重な川魚が生息する。流れは長さ800mある。		「大鶴案内マップ」より
		老松酒造の鍔絵	1789年創業の老松酒造の蔵に描かれた見事な鍔絵である。図は、宝玉を2匹の龍が掴みに行く姿、海岩の上で吠える虎、狐の嫁入りを表している。		「大鶴案内マップ」他

【シート1の2】

□地域のお宝について [未指定・未把握の文化財など]

No.	公民館名	名称・場所等	地域でどんな存在となっていますか	問い合わせ先など	備考
		田の原公園	古くから小学生や保育園児の遠足の場所として親しまれていた。昭和43年、日田市が明治100年記念事業として、650本のソメイヨシノを植えて、公園として整備した。		「大鶴案内マップ」より
		大肥川沿いの桜並木	鶴河内川と大肥川合流地点付近からももは工房付近まで約3kmに渡って川の両岸に桜並木がつながっている。川岸を散策する人も多く、特に春は田園風景とも一体となって人々の目を楽しませている。		
		紫雲台からの眺望	旧静修小学校跡地（現在大鶴公民館が建つ）からは四季折々の風景を楽しむことができる。特に桜の咲く頃、大肥川に沿って広がる風景は大肥の郷を遠くまで見渡すことができ絶景である。		
		畔倉山	標高は474.8m。旧静修小学校校歌では「畔倉山のはるか白雲夢のせて」、大明小学校校歌でも「朝霧晴れた畔倉に小鳥はさえずり花は咲く」と歌われている。地域の人にとってはなじみ深い山である。頂上付近は有志により整備されているが水害等の爪痕が残っており登山道も痛んでいる箇所がある。		
		老松酒造 井上酒造	日田市内にある3軒の老舗酒蔵のうち2軒が大鶴にある。豊かな水源が不可欠な酒造りに適した地であったことがわかる。 老松酒造は1789年（寛政元）、井上酒造は1804年（文化元）の創業とされている。		「子ども版日田の歴史と文化財」より
		御大典記念碑	旧静修小学校跡地（現在大鶴公民館が建つ）に建てられている石碑である。元々は大正5年（1916）に校舎が改築された際に、大正天皇即位記念として設置されたものと考えられる。その後、昭和41年（1966）新校舎となった時に現在の位置に移設されたと石碑裏面に説明がある。		
		静修	「静修」は中国三国時代の諸葛孔明の句をもとに平野五岳が詠んだ「静以修身 謙以養徳」に由来するとされる。明治6年、大肥学校と柳瀬学校が統合し静修小学校が開校。以後130年余にわたり親しまれてきたが平成23年（2010）、惜しまれながら閉校した。「静修」の名を残したいとする強い願いもあり「静修館」として大鶴公民館に引き継がれている。		「静修小学校閉校記念誌」他

【シート1の2】

□地域のお宝について [未指定・未把握の文化財など]

No.	公民館名	名称・場所等	地域でどんな存在となっていますか	問い合わせ先など	備考
		井上準之助 氏	氏の功績については、小説「男子の本懐」をはじめ多くの書物に書き表されている。大鶴に帰郷した際には多くの住民を前に演説をしたとされ、当時の写真も残る。氏は静修小学校の前身である大肥学校の出身であるが、静修小学校では、氏の功績を称え「井上準之助賞」を授与されることが誇りであったと伝えられている。		
		井上正之 氏	大正8年に東京帝国大学卒業。その後、大鶴村議会議長、大分県教育委員長などを務める。また、林業振興に尽力、さらに昭和21年に井上家教育振興会を設立し日田地区の教育振興に多大な貢献をなす。昭和41年、日田市名誉市民の称号を贈られる。	旧静修小学校跡地（現大鶴公民館）に胸像が建立されている。	
9	五 和	津辻古墳	びいたあばん敷地内にあり、お地蔵様のような存在になっている。		
		不動様 (桐尾の滝)	現在は草深くなっており、整備が行き届いていない状態。中学生以下は見たことも（あることも）知らない可能性が高い。		
10	大 山	松原ダム建設以前に大山川の淵や大きな岩には固有の名称があった。	子供のころは泳や魚を釣りに行くところを指していた。そしてそれぞれに物語があった。 しわ石、饅頭石、窪ん瀬、田中淵、千丈淵など		
		鎌手村 矢幡庄屋古文書	町誌編纂の時豊田寛三先生に整理してもらっている。		
		小切畑 前津江の長谷部氏の末裔の墓	津江殿第25代長谷部信統新右衛門 津江殿第26代長谷部信茂三太郎の墓		
11	天 瀬	なだらかに広がる 五馬台地	広大な大地に牧草地や山林が広がる。広域農道が通り観光的にも人気の景観である。たいはんを五馬財産区が管理し、守り続けられている。		
		平原遺跡	五馬台地にある。縄文時代の矢じりが多く発見された。貴重な歴史遺産である。		
		石畳と往還道	江戸時代の往還道。興味を持つ人があり、今後歴史探訪を計画したい。石畳は、アスファルト舗装もあり原型をとどめていないところ有。荒れた状態がほとんどで保存状態が悪い。		
		五馬駄賃取歌	日田市在住の十時鶴夫先生が、歌を楽譜に書き起こしている。公民館が保管。		

【シート1の2】

□地域のお宝について [未指定・未把握の文化財など]

No.	公民館名	名称・場所等	地域でどんな存在となっていますか	問い合わせ先など	備考
		竹槍騒動	M.3年、五馬上の宮（金凝神社）に端を発した百姓一揆。史実を後世に語り継ぎたい。看板を作り変えたい。		
		亀石峠の眺望	広域農道の亀石峠から、阿蘇山を望む眺望は見事。カメラマン等多数。冬の時期、広がる雲海は特別に目を見張るものがある。		
		顕徳坊尊に磁気帯びた岩	2021年、磁力の岩が発見された。磁力で、磁石の針が別方向を示す。「パワースポット誕生に期待」と新聞紙上で紹介された。		
		天瀬の六瀑	桜滝、山伏滝、観音の滝、慈恩の滝、夕日の滝、楓の滝を言う。桜滝は近年テレビで紹介され、訪れる人が急増。慈恩の滝は地元自治会が階段を設置し、上段の滝まで行くことができる。楓の滝は、地元有志が整備を行っている。山伏滝は山法師の滝と記されたものがあるが、地元の方の話では「やんぶしのたき」が正しいとのこと。		
		湖跡の地層	2018. 5.17西日本新聞掲載。「日田市周辺でこれだけ美しい地層は珍しい」と紹介。場所は天瀬町馬原。		
		彼岸花と案山子まつり	本城合楽川周辺。毎年9月、秋の彼岸時期に開催。河川敷には彼岸花が咲き誇り、多くの案山子が立つ。地域に賑わいを作っている。		
		女子畑川原の十三佛	女子畑川原の、十三の石仏。地域の人々が大切にお参りしている。		
		笹尾八十八か所	本城笹尾にある石仏群。地域の人々が大切にお参りしている。		

【シート3】

□地域で行われている歴史や文化にかかる活動等について

No.	公民館名	名称等	内 容	問い合わせ先など
1	西有田	おきあげ人形展示	市の有形民俗文化財に指定されている「おきあげ人形」を毎年1月から3月まで公民館や自宅で展示、公開している。自宅では、小学生、支援学校生徒が、毎年見学に訪れ、人形の歴史について川津さんから説明を受けている。	有田町 川津氏
2	東有田	公民館主催事業 小野チャレンジ教室	地域の大人を招いて、子どもたちとしめ縄づくりの体験講座を開いた (出来る限り、毎年行いたいと思っている)	小野公民館
3	大 鶴	環境整備活動	鶴河内町にある「日田どんの墓」及び周囲の美化・整備を行っている。	大鶴まちづくり協議会 会長 梶原氏 静修紫雲台 会長 伊藤氏
4	五 和	旧小山小学校	小山多目的交流館として運用されている。県内外から利用者が訪れ、キャンプや写真撮影のスタジオとしても利用されている。	
5	中津江	中津江デジタル アーカイブ	故高本大助氏は長年にわたり地域の行事をビデオカメラで撮影していた。その膨大なビデオ記録をデジタルデータ化。また、中津江村時に発行された村誌をスキャンし、修復しながらデジタル化している。	中津江公民館
6	天 瀬	野焼き	毎年、3月中旬に実施。曾田の台の原野管理のため。曾田の池には貴重な植物があり、保護の役目も果たす。一時中止した時期もあったが、出口区民総出で行う。ただし、今年度はコロナのため中止が決まった。	出口区長 日隈氏
		福俵引き	高塚地区で行う新春恒例行事。1月14日に行う。地元有志により1977年に復活した。七福神に扮し、無病息災、五穀豊穡、商売繁盛を願い、各家をめぐる。米や麦、豆などが詰まった約1キロの俵を玄関に投げ入れ、家人と引き合う。	高塚福俵保存会
		中部里花の里づくり	馬原中部里地区、13年前から地区の住民で実施。桜、ヤマモモ、紅葉をはじめ、四季の花々を地域に植栽し、花の地域づくりを行う。毎年秋と春の2回、祭りを行う。	
		塚田ひよっこ踊り	塚田地区の愛好会でにぎわうひよっこ踊り。会を作り結成して18年になる。ユーモラスな面をかぶり、腰をふりながら踊る。塚田くにちをはじめ地域のイベントや施設の慰問などでにぎわう。	塚田ひよっこ踊り 愛好会

【シート4】

□地域の歴史や文化、文化財等について詳しい人について

No.	公民館名	氏名	内容
1	朝日	重石剛氏 (元山田町自治会長)	朝日地区歴史研究会の会長（現在は活動していない）で、「朝日の歴史」の編纂に深くかかわっていた。
		山中十士男氏 (元朝日公民館長)	朝日地区歴史研究会の事務局（現在は活動していない）で、「朝日の歴史」の編纂に深くかかわっていた。
2	西有田	伊藤恵之輔氏	蕪観音、カップ踊りの歴史、その他地域の歴史
		川津三郎氏	おきあげ人形の歴史、小寒水地域の歴史
		五島国光氏	中尾町佐寺地域の歴史
3	大鶴	本河尚記氏	「大鶴案内マップ」を作成した当時の大鶴公民館長。現在、鶴河内町在住であり付近の文化財等について詳しい。 ※「大鶴案内マップ」は、平成21年12月大鶴まちづくり協議会が「平成21年度農山漁村地域力発掘支援モデル事業」として作成したものである。今回の調査にも多数引用させてもらっている。
4	大山	柿本真次氏	鎌手神社総代
		梶原和廣氏	老松生産組合組合長・ 田来原の自然
		原説丸氏	続木伝照寺住職 「伝照寺」 伊能忠敬が日田地方を測量するとき宿泊した。
5	天瀬	穴井幸雄氏	天瀬歴史研究会
		織田荘太郎氏	天瀬歴史研究会
		高倉重昭氏	天瀬歴史研究会

【シート5】

□その他

No.	公民館名	その他情報等
1	西有田	<p>小倉工廠跡戦争遺跡 ・中尾町、水目町、三池町各所にある小倉工廠戦争遺跡として、掘られ隧道が現存しており、地域の長老により語り継がれている。</p> <hr/> <p>高射砲の残骸 ・中尾町佐寺地区に高射砲の戦争遺構が現存している。終戦に伴い、滝つぼへ廃棄され河川改修の祭、偶然引き上げられ佐寺観音堂に保存されている。 (五島国光氏)</p> <hr/> <p>尾当殿 ・尾当地域に住んでいた豪族で、尾当部落をつくった先祖であり町内の名前となっている。</p> <hr/> <p>一尺八寸山 ・昔、猪狩ありし時、大猪三頭を獲りし。その尾を並べたるに一尺八寸山ありしという。依りて一尺八寸山と書いて「みお山」と称するに至れり。</p> <hr/> <p>地域に伝わる口伝 (尾当殿は何処からきて何処に行ったか) 豊西記坂本本に曰く、有田郷に尾当民部某なるものがいた。精強剛精悍であるから人呼んで尾当殿といった。ある時、おのれの富強をたのんで乱を起こした。よって、永末は自ら城門に至り、門扉を外し、これをふるって戦い、数刻に及んだ。流石の尾当殿も自分の城にいたたまれなくなって脱出を企てた。 永末はすかさずその後を追った。尾当殿は馬術に長じていたので、馬場にあった二本の大松を馬もろともに飛び越えて逸走した。永末もまたその大松を馬もろともに飛び越えて追跡し、ついにこれを捕らえて降参させたという。 これよりその松の木の枝が次第に垂れ下がって上に伸びず、世に呼んで尾当殿松といった。大正の頃までこの幾抱きもある二本の老松が、恰も高砂の尾上の夫婦松のように仲良く並び、見事な枝を地面すれすれに垂れていた。かつては姫小松と題する狂言芝居にも作りこまれていた。</p> <hr/> <p>地域に伝わる口伝 尾当と云う処は尾当殿の屋敷跡也。泉水の跡あり、又村の日南に森あり、今八竜社あり、古(いにし)へ持恩寺と云寺也。堂の跡印塔の石数多有、又所々に源内屋敷、右京屋敷、左京屋敷あり、皆尾当殿家来屋敷とかや。又馬場野尾とて馬責場又馬洗場有りて、今は池野と云て池の形有り。此のほとりに鍋川とて石に穴あり、広さ67寸、深さ3尺もあるへし、大千魅にても水絶ることなし、此水にて疣瘡(いぼかさ)を洗へは治する事妙也。礼には水を返す故に疣水とも云へり。 又馬場野より村の方に平地あり寺屋敷と云、同所より東に田地あり、せそんし田と云、以前堤を掘る時、薬師如来の金仏を掘出す、是諸留村世尊寺本尊也と云伝り。 尾当殿は兄弟3人あり、次を八郎と云、其次を弥五郎と云へり。八郎は羽田村二つ尾に住す、弥五郎は高花に住すと云り、尾当殿は実名不知、天正14年丙戌年(1,586年)10月に薩州勢日田へ来り候節、一味致し先陣に加り、玖珠郡戸刈に而大宮司に射殺されしと也。則同所に石碑有り、此時より尾当殿断絶致し、屋敷田畑荒れ果て、わつか一軒残りありとかや。</p>

【シート5】

□その他

No.	公民館名	その他情報等
		<p>小倉工廠と水目町 台地の下に水平に掘られた複数の通路と、その間に横につなぐ広い空間があってそこを工場としたものと思われる。 現在の水目町に倉庫が建てられた。戦後、市営住宅が建てられ、水目町が作られた。つまり、戦後できた町である。その後、払い下げられて、順次建て替えられており、当時のまま残っているのは数件である。なお、数年遅れて、北東側に警察官舎も建てられ、同様に払い下げられた。 現在の城内新町に抜ける通路があり、その途中の右側に横道があって、這ってやっと通れる先が行き止まりになったところに、人ひとりがやっと通れる縦穴があり、そこを降りると、かなり広い空間があった。資料(日田文化44号)によれば、本部跡とのこと。</p> <p>水目隧道 明治20年に開通したものと思われる。(有田道碑文より) 西有田村誌(大正6年版)の地図には、水目辺りに三ヶ所の隧道が図示されているので、おそらくこの工事によるものと思われる。</p> <p>・懐良親王退路 南北朝の争いの中で、退路する懐良親王が鷹城から天瀬方面に退却する際、水目と城内の境の尾根を通ったとのこと。(「鬼の足あと」より)</p> <p>・久留島藩主巡察通行 城内の祇園社前の道路を久留島藩主の駕籠が通ったと言われている。江戸時代、水目町南側に旧道があって、堤城方面や城内方面に通じていたので、町内(そのころは住宅などない、ただの山中だったはず)を通ったかもしれない。(地域の方の証言)</p> <p>・明治維新の丸山布政所管轄 新政府の指示で丸山陣屋を管轄するため、諸留町の代官所を経て、城内の高倉庄屋宅で待機しているので、おそらく水目を通っているものと思われる。</p> <p>佐寺の滝 中尾町佐寺を流れる有田川に平成14年まで落差4.5メートル、幅33メートル、滝つぼ水深6メートルの佐寺の滝があり、河川改修と共に落差2.5メートルとなった。(原風景写真有り)</p> <p>一尺八寸山からの眺望 春夏秋冬壮大なパノラマが目の前に広がり、古代から栄えてきた日田盆地の内面を深く感じ、その光景は、言葉には言い尽くせない情景である。</p> <p>葛原遺跡 縄文～古墳時代遺構遺物発掘(1987～2001年)縦穴住居跡20軒を坑溝、ピット他。緩やかな谷地を形成して谷に沿うように遺構が検出された。古代の先祖の姿を垣間見れます。</p> <p>荷付け石 昔々の話し日田がまだ湖であった頃、谷山集落の東側に大きな石の上にお稲荷様が祀っていた。そこに、船をつなぐ石があったと言い伝えられている。今は、その石はお伊勢様の式台石として存在している。</p>

【シート5】

□その他

No.	公民館名	その他情報等
		<p>柴尾清水 大正6年作成、日田郡西有田誌の井泉の頃、五清水の一つ。（中尾、小寒水、尾当、北平、各清水）</p>
2	東有田	<p>月出山岳（月出町） 日本全国難読山名第3位にランクされる。山頂からの眺望が素晴らしく、日田市内や久住山系、玖珠町などを見渡すことができる。</p> <p>正福寺の紅葉（羽田町） 寛永19年に開基。本堂は平成13年に焼失し、平成15年再建。境内の紅葉が素晴らしい。</p> <p>タブの木（東羽田町高花） 樹齢250年以上の大樹。特別保存樹。</p> <p>せんだんの木（日の本町） 羽田多目的交流館（旧羽田小学校）グラウンドにある大木。樹齢110年以上。アオバズクが毎年子育てにやってくる。</p> <p>民話 諸留どんと弁財天（諸留町？）、主人を守った犬（上諸留町片峰地区）、山姥の墓（上諸留町日向野地区）、羽田殿水（羽田町）、一尺八寸山（東羽田町）</p> <p>月出山棚田 月出山岳の中腹に広がる。地域一体となった農地保全や地域活性化に取り組んでいる。令和4年2月に「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来に～」に選定された。</p>
3	五 和	<p>高台の多い地区のため、市内中心部を俯瞰できる展望は、地域住民に長く愛されている。三隈川が隔てているため、子どもたちの多くは地域内での外遊びを活発に行っている。里山公園の利用頻度も高く、幼い頃より由緒ある桜に親しんでいる。</p>
4	天 瀬	<p>玖珠川の十釣 玖珠川の十釣を天瀬公民館だよりNO111号で、紹介した。小淵から玖珠までの玖珠川沿いに釣のつく地名が10か所ある。反響があり、事後談があった。釣のつく地名は過去に土砂崩れがあったところという。釣という字に意味があるとのこと。そういえば、湯の戸という地名を話題にしたとき、戸というのは大きな岩とか崖を指すと聞いたことがある。振興局前に戸ノ上があり、馬原に尾戸がある。いずれも崖の上だ。地名には意味があると、納得したものだった。</p> <p>彼岸花と案山子まつり 本城合楽川周辺。毎年9月、秋の彼岸時期に開催。河川敷には彼岸花が咲き誇り、多くの案山子が立つ。地域に賑わいを作っている。</p> <p>鯖寿司 五馬地区の秋祭り、くにちに食す郷土料理。塩鯖に酢飯を詰めて作る。一匹に包丁を入れ、そのままの姿で食卓に並ぶ。近年、作る家庭が少なくなっていると聞く。 日田宝さがし 本 P84</p>